

新年、あけましておめでとうございます。

新年を迎え、皆さん一人一人は、「今年こそはこんなことに挑戦したい」「こんなことを頑張りたい」と、胸に秘めていることがあるのではないのでしょうか。目標を掲げ、その目標に向かって努力することは大切なことです。

私は、冬休み中にこんな言葉に出会いました。「念すれば、花開く」という言葉です。この言葉は、熊本県出身の詩人、坂本真民（さかもと しんみん）という人の詩の一節に出てくる言葉です。

「念すれば、花開く」これは、ただ念じていれば、じっとお願いをしていれば夢がかうという意味ではありません。

この言葉の本当の意味は、「何事も一生懸命に祈るように努力すれば自ら道は開ける、夢や目標がかなう」という意味です。

「念ずる」の「念」という字を分解すると、上に「今」下に「心」になります。「念」とは、今の心であり、「今、目の前にあることを心を入れて一生懸命やる」ということです。

「念すれば、花開く」という言葉の裏には、「今」を大切に生きないと花は開かないという意味があります。逆に言うと、「今」をいい加減に生きると、次もいい加減なものとなり、いい加減な生活しか送れないということです。

平成30年のスタートに当たり、「念すれば花開く」という言葉より、「今、自分にできることを確実にやること」が夢や目標の実現につながるということを皆さんに伝えたいです。

3学期は卒業・進級を控え、学年のまとめ、1年間のしめくくりをする大切な時期です。しかし、期間は短く、あっという間に3月が来ます。

- 学習面ではどうでしょうか。3年生は進路実現に向けて重要な局面であり、さらに気合を入れて頑張ってもらいたいが、1、2年生においても、みんなで学びあい、その学年で身に付けることを取りこぼすことのないようにしてほしいです。
- 学級や各学年の目標は達成できるでしょうか。どうか、この節目の時に再度見直して、学年の最後には、このクラスで良かったと思えるようにしてもらいたいです。
- また、新しい生徒会本部役員をリーダーとして、年度初めに決めた、生徒会のテーマである『ピース』一つひとつのピースが、しっかりと組み合わさって1つの絵を完成させてほしいです。
- また、部活動でも、新入生が入ってくるまでに、2年生が中心となって魅力ある部活動をつくってほしいです。

北中生としての誇りを持ち、1日1日を大切にしてほしいと思います。みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。